



社協から こんにちは!

令和8年
1月22日

Instagram



様々な情報も
お届けします!



“社協”は(社)会福祉(協)議会の社と協をとった略称です。

発行/社会福祉法人 勝山市社会福祉協議会 ☎(0779)88-1177

印刷/朝日印刷株式会社



第2回勝山市社会福祉協議会会長杯 モルック大会を開催しました。

全45チーム総勢約150名の
頂点に立ったのは、

「イデッチーズ^{ベータ} (北郷地区)」でした!!



Q. モルック歴若干半年で決勝の舞台に
立った気持ちはどうでしたか?

A. 内心とても緊張していました。たく
さんの方に見守られながらの試合で
したが、皆さんから応援してもらい
嬉しかったです。

Q. 始めたきっかけは?

A. 今年5月に地区の親睦会でモルック
を体験し、その際モルック競技
に魅了され、月2回まちづくり会
館で夜練習をしてきました。



1 イデッチーズ^{ベータ}



2 イデッチーズ^{アルファ}



3 原・吉田
ライダース

Q. 同じ北郷地区同士の決勝の戦いはいかがでしたか?

A. 最初の目標は、「伊知地同士で決勝へ」だったので、
目標達成できましたが、結果負けてしまったので、
うれしさ半分、悔しさ半分です。

Q. モルックの魅力はなんですか?

A. 子どもから高齢者までできるところ。楽しんでよし、
競技として上を目指すもよし。練習すれば、誰
でも上達できるところ。



Q. どうやってチームをつくったの?

A. 僕たちのおばあちゃんがモルックをやっ
ていて、大会に出ないかと誘われ、練習を
して手応え感じたので、いとこ同士でチ
ームを組みました。

Q. モルックをやってきてよかったことは?

A. 年代を問わず誰もが夢中になれる面白さ
があり、大人の方がみんな親切で和気あ
いあいと楽しくプレーが出来ること
です。優勝はできなかったけど、自分達
にとってとても嬉しい結果だったので、
よかったです。

Q. 他市や他県と比べて勝山のモルックは盛り上
がっているのですか?

A. はい。福井県の勝山でモルックが盛り上
がっていることで、県外からも「負けて
られない」という声を沢山いただいで
おります。スポーツで健康寿命を延ばし
つつ、年齢問わず活躍が出来るこの
“モルック”を福井県のスポーツとして
勝山から全国、世界に発信できないか
と考えています。



【大会アドバイザー】
ゆるモルック協会～福井支部
会長 上原 玲於奈 氏

Q. ト井さんからみたモルックの魅力

A. 年齢、性別、障害問わず、老若男女が同じ舞
台で競い合い、脳も身体も全身を使って
チャレンジすることで、チャンスのある
チャレンジ精神を忘れないコミュニケーション
スポーツ。これがモルックの魅力だと思
います!

ありがとうございました！

12月6日（土）にチャリティー映画会「長いお別れ」を上映しました。1日2回の上映で397名の方々にご来場いただきました。

チャリティー映画会売上金より経費を引いた収益が、福祉ボランティア等を支援する活動などに役立てられます。チケットの販売、購入にご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

また、チャリティー映画会の開催にあたり、勝山ボランティアセンター運営委員会が企画・運営を行いました。



チャリティー映画会でのお忘れ物を3月31日（火）までお預かりしております。お心当たりのある方は勝山市社会福祉協議会の窓口（すこやか④番入口）までお越しください。

チャリティー映画会に関するアンケートご協力をお願い

チャリティー映画会は、「勝山には映画館がなく寂しい」、「大きな画面で映画が見たい」、「冬季間の楽しみがない」という市民の声から、昭和61年に第1回目を開催し、今年で40回目の節目を迎えました。

本映画会は、毎年福祉的要素のある映画を主に上映してきました。チケットの収益は勝山ボランティアセンターを通して、福祉ボランティアを支援する活動に役立てられてきました。

40年の長きにわたり多くの皆さまにご支援・ご参加をいただき、心より感謝申し上げます。

しかし、近年は来場者の減少や、上映時期など、今後も同じ形で続けていくべきか、あるいは一旦お休みするべきか、判断が難しい状況となっています。

このような状況を踏まえ、「チャリティー映画会」の今後の開催について、市民の皆さまのご意見をお聞きしたく、アンケート調査を実施いたします。

お寄せいただいたご意見は、今後の開催のあり方を検討するための参考とさせていただきます。ぜひアンケートにご協力くださいますよう、お願いいたします。

アンケート実施期間 令和8年1月22日(木)～令和8年2月28日(土)

回答方法

①アンケート用紙

(アンケート用紙設置場所：市内各まちづくり会館、コミュニティセンター、勝山市社会福祉協議会、まちなかCafé (勝山サンプラザ2階))

②Googleフォーム

URL：<https://forms.gle/qn36dLb2Sutk9xmK6>

QRコード



お問い合わせ先

勝山ボランティアセンター運営委員会 事務局 (勝山市社会福祉協議会内)
勝山市郡町1丁目1-50 (勝山市福祉健康センターすこやか内)
☎88-1177 担当：久永・北川・佐野



生活福祉資金貸付制度について

ご相談ください!!

低所得者世帯の生活の安定と経済的自立支援を図るため、資金の貸付相談・受付を行っています

どんな制度なの？

- ①生活の安定や経済的な自立や立て直しを目的として資金の貸付を行う制度です
お住まいの地区の民生委員や関係機関が相談支援にあたります
- ②借入は無利子ですが、連帯保証人が必要です
連帯保証人を立てられない場合は、年1.5%の利子が加算されます
- ③他の貸付制度を利用することが可能な場合は、他制度を優先して利用していただきます。利子などの貸付条件を理由として本資金を利用することができません
- ④すでに支払いが終わっている経費や購入等の契約が済んでいる経費は、貸付対象になりません

どんな人が利用できるの？

※生活福祉資金は、個人ではなく世帯を単位として貸付けします。会社組織や団体は貸付け対象外です

- 所得の少ない世帯（所得制限あり）
- 障がい者世帯（身体、療育、精神障害者保健福祉手帳いずれかの交付を受けている）
- 65歳以上の介護を必要とする高齢者がいる世帯

例えば…

- 総合支援資金……生活全般のため
 - 福祉資金……一時的に必要な費用のため
 - 教育支援資金……進学のため
- など ※貸付内容によって貸付限度額は異なります



借入の相談・申込は・・・勝山市社会福祉協議会 ☎88-1177

もっと詳しく知りたいときは・・・福井県社会福祉協議会ホームページ <https://www.f-shakyo.or.jp/>

介護保険事業所より

！初 介護相談会実施！

12月15日に、勝山サンプラザ2階 サンてらす広場にて
介護相談を実施しました！

介護保険
サービスとは？

認知症の方への
対応方法は？

当日は、ケアマネジャー
とホームヘルパーがお話
をうかがい、お答えしま
した。



ひとり暮らしで
今後の生活が不安…

介護に関して
何を相談したら
いいのか分からない。

- 介護保険制度の説明・サービス利用の助言
- 必要に応じてケアマネジャー・関係機関へのつなぎ
- 継続的な支援が必要なケースフォロー
- ホームヘルパーの仕事内容などの紹介などをさせていただきました

介護に関する不安を一人で抱え込まず、
気軽に相談にいらして下さい！

次回は2月13日(金)9:30~11:30です。
サンプラザ2階でお待ちしております。



勝山市社会福祉協議会からのお知らせ



このたび、勝山市社会福祉協議会のホームページをリニューアルしました！パソコンからでもスマートフォンからでも快適に閲覧・操作いただけるデザインと機能を取り入れております。様々な勝山市社会福祉協議会の情報をご確認いただけますので、ぜひご覧ください。

<http://www.katuyama-sk.jp>



令和7年度 歳末たすけあい募金支援事業報告

令和7年度歳末たすけあい募金で以下のように支援させていただきました。ご協力ありがとうございました。

個別配分	事業費配分	合計
<ul style="list-style-type: none"> 要援護世帯 132世帯 遺児 14名 生活困窮者等食糧備蓄・緊急支援活動^(※) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉事業（モルック大会他） 貸出用機器整備・管理 (車椅子・チャイルドシート等) 事務経費等 	2,200,000円
小計 1,490,000円	小計 710,000円	

(※) 生活困窮者への緊急支援活動として、食材を配布しました。

勝山南部中学校 美術福祉部の挑戦!!

月2回第2、4土曜日午前中、勝山サンプラザ2階にある、サンプラザcafé（通称：サンCafé）で活動しています。主に、カフェスタッフとして、お話をしながらコーヒーやジュースなどの飲み物の提供をしています。活動が人気のため、自分達でシフトを組んで入っています。

カフェ以外にも、黒板アートや、勝山ボランティアセンターに集まったベルマークの仕分け作業にも取り組んでいます。

ベルマーク仕分け作業では、細かい作業が苦手な生徒や、「ベルマークの量が多く大変」などの声もありました。しかし次第に、「細かい作業だけど楽しい！」や「誰かのために、ベルマークで学校に必要な物が買えるなら」と前向きな活動へと変化しました。

今後は、仕分けたベルマークを、どのように活用していくのか（物品購入や配分など）を生徒たちが考えていく予定です。

地域で活動していることについて、生徒に思いを聞きました。「カフェを通して地域の人と楽しくコミュニケーションをとることができ、いい機会になっている」や、「地域の人と関わって楽しいし、いろんなお話しができて、地域に貢献出来ていると感じる」と話してくれました。

勝山ボランティアセンター（勝山市社協）は、このような活動を、今後も継続していけるようサポートしていきます。また、収集ボランティアとして、ベルマーク収集活動や、仕分け作業など興味のある方は、勝山ボランティアセンターまでご連絡ください。



あたたかいお志をありがとうございました

(令和7年11月1日～12月31日)

ボランティアセンターにご寄付をいただいた方々（順不同）

- 匿名の方々（尿パットM3袋、紙オムツM4袋、使い捨て防水シート3袋、パッド大3袋、テープ付M2袋、5kg米11袋、30kg米1袋、液体洗濯洗剤1本、除菌ミスト1本、歯磨き粉1本、試供品3個、タオル8枚）
- 株式会社 ダイナム様（BOXティッシュ 29箱、BOXティッシュ 5箱×4、調理器具、食料品類）
- 森口日良美様（シャワーチェア）

笑顔で明るくあたたかく

私たちが在宅介護を応援します。介護の相談・ケアプランの作成、ホームヘルパーの派遣など、お気軽にご利用ください。

☎ 88-3737

居宅介護支援事業所・ホームヘルプサービスセンター

〔この広報紙は共同募金の配分金を受けています。〕